

あけましておめでとうございます

今年4月には医療保険・介護保険が同時に改訂されます。いつでも・どこでも安心して病院や薬局が利用でき、介護保険も使えるしくみをご一緒につくっていきましょう。

今年もよろしくお願いたします

さくら薬局職員一同



いつもさくら薬局をご利用いただきありがとうございます。昨年お願いしたアンケートの結果で、貴重なご意見をいただきありがとうございます。ご要望のありました点の対策ができました。店内には掲示してありましたが、この機会に紹介させていただきます。

薬局の快適度	待ち時間に利用しているもの
<p>ご意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ソファを背もたれのあるタイプにしてほしい ●もっと緑がほしい 	<p>新聞…17名 雑誌…40名</p> <p>ご意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ニュースをみたいのでテレビがほしい ●新聞や雑誌を増やしてほしい
<p>プライバシーへの配慮</p> <p>ご意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ●知られたくない薬はいつもの薬と言ってほしい ●説明の声が少し大きい 	<p>待合室にテレビを置きました。パソコンについて、「お薬手帳の活用」などのお知らせを見ていただけます。書籍や新聞の種類を増やしました。</p>

お気づきの点がありましたら、最寄りの職員をお伝えください。投書箱は洗面所にございます。

2011年日本平和大会 in 沖縄に参加して

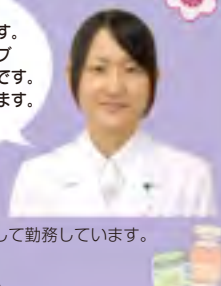
11月25日～27日の3日間、平和大会に参加してきました。現在、注目を集めている住宅地に囲まれた普天間米軍基地や第二次世界大戦時の戦跡など多くものを見ることができました。その中で人を殺めてしまう戦争、それを可能する基地も放棄すべきと強く感じました。やはり、人は不安より安心を、喪失より誕生を希求すると思います。ごくごく自然な願いだとは思いますが、そのためには基地や兵器よりも、教育や医療・福祉などを充実させた日本であってほしいと思いました。

ひまわり薬局 坂本泰造



新入職員紹介

趣味は映画鑑賞です。特にパイレーツオブカリビアンが好きです。よろしくお願いたします。



11月から薬剤師として勤務しています。ひまわり薬局 網脇 智織です。

携帯で簡単登録!

さくら薬局情報



住所や電話番号の情報が載っているQRコードです。

福祉用具貸与事業所ひまわり

私たちは、利用者様の「介護幸せ配達人です!」

福祉用具貸与事業所の仕事は、自宅で介護が必要になった方の住環境と一緒に考えることです。お客様にとって身近な事業所になれるよう、日々努力しています。2012年もよろしくお願いたします。

福祉用具販売、レンタル、住宅改修工事等何でもご相談下さい。

(株)健康共同ファルマ 福祉用具貸与事業所 ひまわり
熊本市神水1-21-16 電話(096-387-5211) FAX(096-387-5323)
Eメール:okamoto@kk-pharma.jp 岡本 修

さくら薬局だより

■発行所/さくら薬局 〒867-0045 水俣市桜井町2-2-19
■TEL0966(63)7100 FAX0966(63)3960
■通話料無料フリーダイヤル 0120-63-9383
■発行責任者/甲斐 康幸
■HPアドレス/http://www.kk-pharma.jp/

2012
No.50

新春号



あけましておめでとうございます

昨年3月11日未曾有の東日本大震災が起き、自然の脅威の凄まじさを見せつけられました。被災された方々にお見舞いを申し上げますと共に亡くなられた方々に、心から哀悼の意を表します。さらに追い討ちをかけるように、福島原子力発電の放射能漏れ事故が起きました。まだまだ完全な復興は程遠い状況です。東北、福島の被災者の方々が一日も早く安心して暮らせる被害対策が立てられる事を願います。震災直後の3月と4月に、私共の職員の薬剤師2名が、被災した宮城県民医連の薬局に支援に行きました。その後も支援の薬品を送ったり義捐金を集めたりして、微力ながら復興に向けたお手伝いをして参りましたが、今後も、様々な形で復興の支援にかかわっていきたく思っております。

さて、今回の福島の原子力発電の事故が起きて初めて原発がどんなに危険なのかよく分かりました。「原子力の平和利用」という安全神話に知らず知らずのうちに自分が洗脳されていたんですね。日本にいつのまにか54基の原発が出来ていた事を「知らなかったでは済まされない」という現実打ちのめされた気がします。核兵器と原発は一体のもので、どちらも人類とは共存できないと知りました。

ドイツ政府は昨年6月に原子力からの撤退を決定しました。その背景には子どもを持つ女性たちが中心となった反原発の粘り強い闘いがありました。1986年のチェルノブイリ原発の事故以降新しくできた女性団体を中心に食品の放射能測定をし、原発周辺の子供たちに白血病が多いことを告発し、福島の事故以降は毎週月曜日に反原発の集会を開きました。また20の都市で「原子力からの即時撤退」を求める大規模なデモが行われ25万人が集まりました。参加者の多くは子どもを持つ女性たちだったそうです。

これから日本も被災地の瓦礫処理問題や放射能による健康被害の追跡調査など解決しなければいけない課題が山積しています。私たち一人一人が自分自身の事と捉えて取り組んでいかなければならないと思います。日本も早くドイツのように原子力からの撤退を実現したいものです。国民の合意を作っていくのは簡単ではありませんが、「子どもたちに安心して暮らせる未来を残すために」きっとその事では、日本国民が一つになれるのではないのでしょうか。

今年は、健康共同ファルマが、創立20周年を迎えます。これも、ひとえにご利用頂いている皆様のおかげでございます。そして初めての薬学部6年制の新卒薬剤師を迎えます。

新しい仲間と一緒に、いっそう努力してご期待に応えられる薬局活動を模索してまいります。本年もよろしくお願いたします。

